



エンブラ工業株式会社

2022年度

(対象期間 2022 年10月1日～ 2023 年9月30日)



発行日: 2023年11月1日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11



基本理念

エンプラ工業㈱は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。



環境経営方針

(基本方針)

当社はエンジニアリング・プラスチック樹脂成形及び加工の事業活動とこれらの製品の環境影響を低減するために、次の指針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制その他の要求事項を遵守し、環境保全の向上に努めます。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 脱地球温暖化社会のための省エネルギーに取り組めます。
4. 循環型社会のための省資源、節水に取り組めます。
5. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進に取り組めます。
6. 5S活動を実施し、職場の環境を見直し致します。
7. 化学物質の適正管理に努めます。
8. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践出来るように、この方針を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。



制定日：2020年10月1日

工場長 江草 紀男

組織の概要

(1) 名称及び代表者名
エンプラ工業株式会社
工場長 江草紀男

(2) 所在地
〒564-0043
大阪府吹田市南吹田5-37-33

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 品管技術G 村上 圭吾 TEL:06-6338-0027

(4) 事業内容
フッ素樹脂 (PCTFE・PFA・ETFE等)の成型加工
PCTFE: ポリクロトリフルオロエチレン(3フッ化)
PFA: テトラフルオロエチレン・パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体
ETFE: テトラフルオロエチレン・エチレン共重合体

(5) 事業の規模

	2019年度	2020年度	2021年度
主要製品生産量	56.59トン	48.79トン	64.53トン
従業員	21名	20名	24名
工場延べ床面積	950㎡	950㎡	950㎡

(6) 事業年度 # 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: エンプラ工業株式会社
対象事業所: 〒564-0043
大阪府吹田市南吹田5-37-33
活動: フッ素樹脂(PCTFE・PFA・ETFE等)の成型加工

□事業の紹介

製品一例



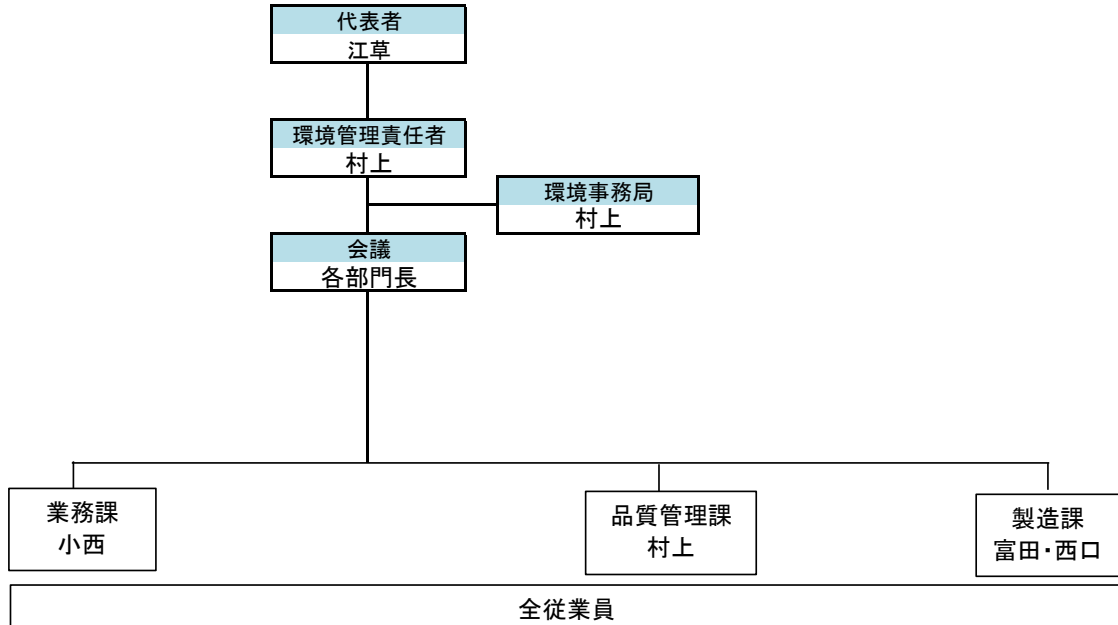
■ PFA ムーヴ曲げ加工



■ PFA 熱加工

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2021年10月1日



	役割・責任・権限
代表者(工場長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の策定・見直し 必要な経営資源を準備 全体の評価と見直し 環境経営計画書承認及び環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営計画書承認及び環境経営レポートの確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態対応試行訓練の実施・記録 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実施集計 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版の管理 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開
各部署の職長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動への参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	216,986	216,769	316,711
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	730	720	716
産業廃棄物排出量	トン	470	390	64,805
水使用量	m ³	278	336	351
		0.334	0.334	0.334

※2018年度 関西電力(A0272)R2.9.15
一部追加・修正 二酸化炭素排出係数
(調整後)0.334を使用

kg-CO₂/kwh



環境経営目標及びその実績

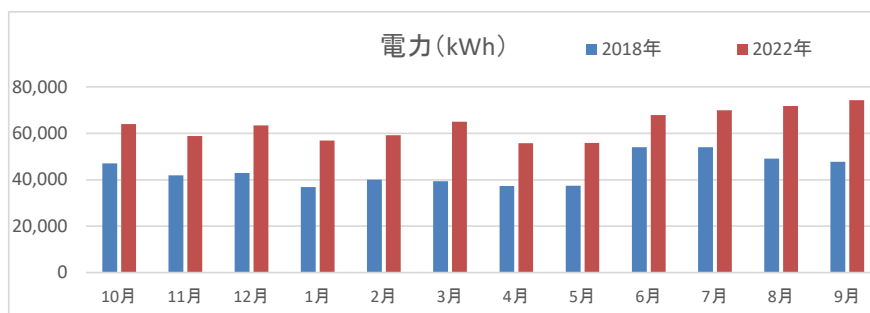
項目	年度	単位	2022年		評価	2023年	2024年	
			(基準年)	(目標)		(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		216,449	212,120	318,830	×	209,956	207,791
		基準年度比		98%	149%		97%	96%
	原単位	kWh/千円	0.616	0.604	0.424	○	0.598	0.592
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		503	403	342	○	378	352
		基準年度比		80%	59%		75%	70%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		216,953	212,523	319,173	×	210,333	208,144
一般廃棄物の削減	kg		727	721	716	○	721	720
		基準年度比		99%	98%		99%	99%
産業廃棄物の削減	kg		741	734	719	○	730	726
		基準年度比		0.99	0.970		0.985	0.98
水道水の削減	m ³		278	403	387	○	384	375
		基準年度比		145%	139%		138%	135%
洗剤使用量削減	kg		192	188	140	○	77	58
		基準年度比		98%	73%		40%	30%
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)							
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)							

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

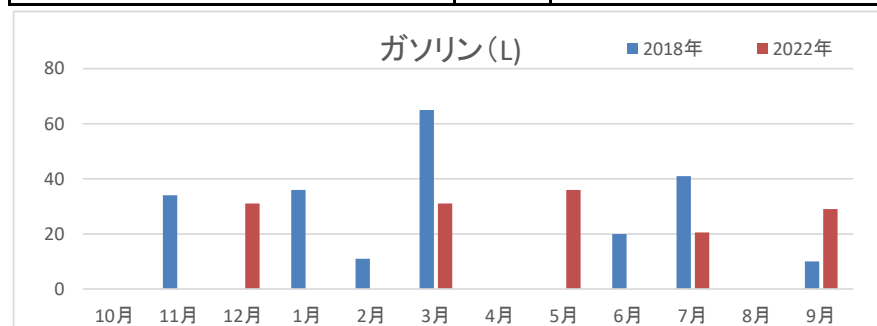
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	年間通して目標値を達成出来ている、次年度は売り上げ金額を想定し目標値の見直しを実施致します。
原単位目標	○	
・エアコンの適正管理	○	
・設備増産による生産効率UP	○	



- ・電気炉の空運転時間の削減 (工程調整)
- ・作業環境に応じたエアコン適正管理

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年	47,097	41,911	42,982	36,871	40,103	39,434	37,359	37,460	54,014	54,014	49,087	47,707
2022年	64,027	58,819	63,372	56,883	59,154	65,048	55,714	55,852	67,916	69,932	71,791	74,244

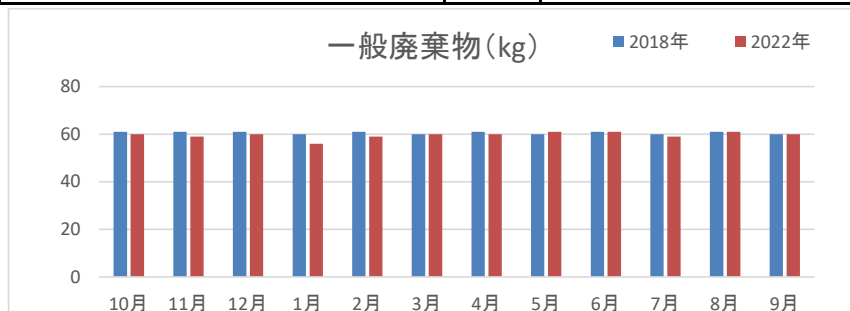
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標値を達成することが出来た、次年度は目標値の見直しを実施致します。
・業務便の有効活用	○	



- ・オンラインでの会議開催 (車での移動を削減させる)

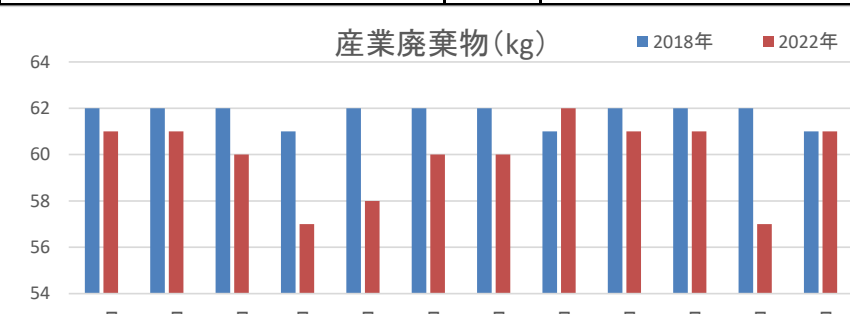
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年	0	34	0	36	11	65	0	0	20	41	0	10
2022年	0	0	31	0	0	31	0	36	0	21	0	29

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	新たに削減できる手段が見当たらないので、月ごとの増減を監視していく。
・紙くずの削減	○	



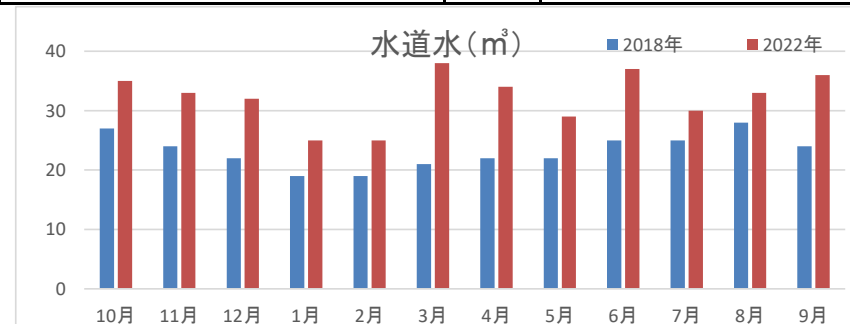
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年	61	61	61	60	61	60	61	60	61	60	61	60
2022年	60	59	60	56	59	60	60	61	61	59	61	60

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	新たに削減できる手段が見当たらないので、月ごとの増減を監視していく。
・端材の削減	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年	62	62	62	61	62	62	62	61	62	62	62	61
2022年	61	61	60	57	58	60	60	62	61	61	57	61

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	通年で見ると目標値は達成しているが、単月ごとで見ると未達成の月もある
・毎月のデータ取り	○	
・気密検査回数の調査	○	
・洗浄回数の調査	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年	27	24	22	19	19	21	22	22	25	25	28	24
2022年	35	33	32	25	25	38	34	29	37	30	33	36

洗淨剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	使用量が減っており、目標は達成しています。化学物質の取り扱い方法等を掲示し運用する。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・データ取り	○	

取組紹介欄

・工程内不適合品の再格付けし、救済措置できる製品は救済措置にする。



環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・PCTFE廃棄物の削減	○	通年で見ると目標値を達成している、原料使用量が増加し、原料不足で不適合品もB級品扱いとして使用出来ているのが要因と考えます。次年度も達成できるように、不適合の削減に努めます。
・歩留まり向上	○	

取組紹介欄

・新規金型製作時に原料のロスが少ない金型設定を実施している。



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	△	次年度はコストダウンできる製品を提案を目標と致します。
・企業価値向上による顧客獲得	△	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	△	
・新製品・商品開発	△	
・働き方改革	○	

取組紹介欄



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物(金属クズ・廃プラ・蛍光灯等)
騒音規制法	空気圧縮機(対象外)、液圧プレス
振動規制法	空気圧縮機(対象外)、液圧プレス
消防法(危険物)	危険物の保管(指定数量1/5)未満遵守)消火器・報知器・誘導灯設備の維持 2m以上の電気炉の届出
Nox・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用
フロン排出抑制法	業務用エアコン(3ヶ月毎簡易点検)
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・洗濯機
グリーン購入法	購入品・調達品

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。(2022/9/30確認)

□外部からの環境上の苦情・要請等

2021年度は外部クレーム0件 (2022/9/30 確認)

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2021/7/29	■実施場所: エンプラ工業(株)建屋
■参加者: 正社員:12名 派遣社員:6名 計18名	
■実施内容: <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<p>■実施状況の様子</p> <p>避難訓練を実施する連絡を事前にしていることもあって、概ね順調に避難訓練の実施が出来ました。課題として、各階廊下に置いている物の整理・整頓が必要。避難経路になり、通行の妨げになっています。事前に連絡して、実施しているので、抜き打ちで実施するのも検討致しましたが、抜き打ち実施になると、仕事の段取り上訓練参加出来るかどうかかわからないので、現状の避難訓練方法を実施致します。</p>	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2022年10月1日

<p>・電力削減部門2020年度の取り組みは、目標設定を(12月～2月)と(7月～9月)をエアコン稼働に伴い目標値の15%増、(3月～6月)と(10月～11月)を目標値の15%減で目標設定致しました。想定した目標値で実績値も推移致しました。</p> <p>・2020年度の実績値を踏まえて、2021年度はより目標値と実績値がかけ離れることのない目標値に設定し取り組みます。</p> <p>・環境型配慮製品部門のPCTFE歩留まりについて、原料ペレットの異物検査・原料異物指数の監視を実施し、工程内不適合の削減・製品再格付け・原料投入量を減らす金型設計の見直し等に取り組みます。</p>
--

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり